

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2015年12月調査）

2016年1月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 調査結果の概要.....	3
2. 国内向け出荷量の動向.....	5
3. 輸送機関利用の動向.....	9
(1) 一般トラック.....	10
(2) 特別積合せトラック.....	11
(3) 宅配便.....	12
(4) 鉄道コンテナ.....	13
(5) 内航コンテナ.....	14
(6) 国内航空.....	15
4. 輸出入貨物量の動向.....	16
(1) 外資コンテナ ー輸出ー.....	17
(2) 外資コンテナ ー輸入ー.....	18
(3) 国際航空 ー輸出ー.....	19
(4) 国際航空 ー輸入ー.....	20
5. 在庫量と営業倉庫利用の動向.....	21
(1) 在庫量 ー原材料ー.....	22
(2) 在庫量 ー製品ー.....	23
(3) 営業倉庫保管量.....	24
6. 運賃・料金の動向.....	25
(1) 一般トラック運賃.....	26
(2) 特別積合せトラック運賃.....	27
(3) 鉄道コンテナ運賃.....	28
(4) 内航コンテナ運賃.....	29
(5) 国内航空運賃.....	30
(6) 営業倉庫保管料金.....	31
7. 物流コスト割合の動向.....	32

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2015年10～12月の実績と2016年1～3月の見通しを12月初旬時点でうかがったものであり、1,054社からご協力をいただき、回答率は42.2%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率 (%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	110	47.4
	繊 維 ・ 衣 服	111	38	34.2
	木 材 ・ 家 具	92	39	42.4
	パ ル プ ・ 紙	109	44	40.4
	化学・プラスチック	239	117	49.0
	窯 業 ・ 土 石	102	35	34.3
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	100	51.3
	金 属 製 品	128	57	44.5
	一 般 機 械	222	99	44.6
	電 気 機 械	333	121	36.3
	輸 送 用 機 械	251	100	39.8
	精 密 機 械	69	27	39.1
	そ の 他	167	62	37.1
	計	2,250	949	42.2
卸 売 業	生 産 財	124	47	37.9
	消 費 財	126	58	46.0
	計	250	105	42.0
合 計		2,500	1,054	42.2

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 調査結果の概要－

- 2015年10～12月実績（見込み）の国内向け出荷量『荷動き指数』は、△2と引き続き前年同期の水準を下回ったものの、緩やかな改善方向に動いた。しかし、2016年1～3月見通しでは、△4と再び悪化が見込まれており、足元において荷動きの盛り上がりはまだ期待しづらい状況にある。
- 業種別『荷動き指数』については、2015年10～12月実績（見込み）では、全15業種9業種において上昇し、プラスの業種は7業種となった。しかし、2016年1～3月見通しでは、7業種において悪化の動きがみられ、プラスの業種は5業種にとどまるとみられる。
- 地域別『荷動き指数』については、2015年10～12月実績（見込み）では、プラスの地域は東海、中国のみであるが、6地域で改善の動きがみられた。2016年1～3月見通しでは、6地域において悪化の動きがみられ、プラスの地域は東海、九州・沖縄の2地域にとどまり、回復の足取りは依然として鈍い。
- 輸送機関別『利用動向指数』については、2015年10～12月実績（見込み）では、4輸送機関で改善の動きがみられ、一般トラックではプラスに転じたが、残りの5輸送機関においては、引き続き『利用動向指数』はマイナスを示している。2016年1～3月見通しでは、内航コンテナ・RORO船以外の輸送機関において『利用動向指数』が悪化し、全輸送機関で『利用動向指数』がマイナスとなる。
- 輸出入貨物量『荷動き指数』については、2015年10～12月実績（見込み）では、外貨コンテナの輸出・輸入において上昇する一方、国際航空の輸出で横ばい、国際航空の輸入では低下となり、『荷動き指数』は全輸送機関でマイナスを示した。2016年1～3月見通しでは、全輸送機関において『荷動き指数』が悪化し、引き続き全輸送機関でマイナスになり、荷動きの減退圧力が強まるとみられる。
- 在庫量と営業倉庫保管量の『動向指数』については、2015年10～12月実績（見込み）では、製品在庫、営業倉庫保管量においてプラス、原材料在庫ではマイナスとなった。2016年1～3月見通しでは、営業倉庫保管量において『動向指数』がプラス、原材料在庫、製品在庫ではマイナスと、バラツキがみられる。

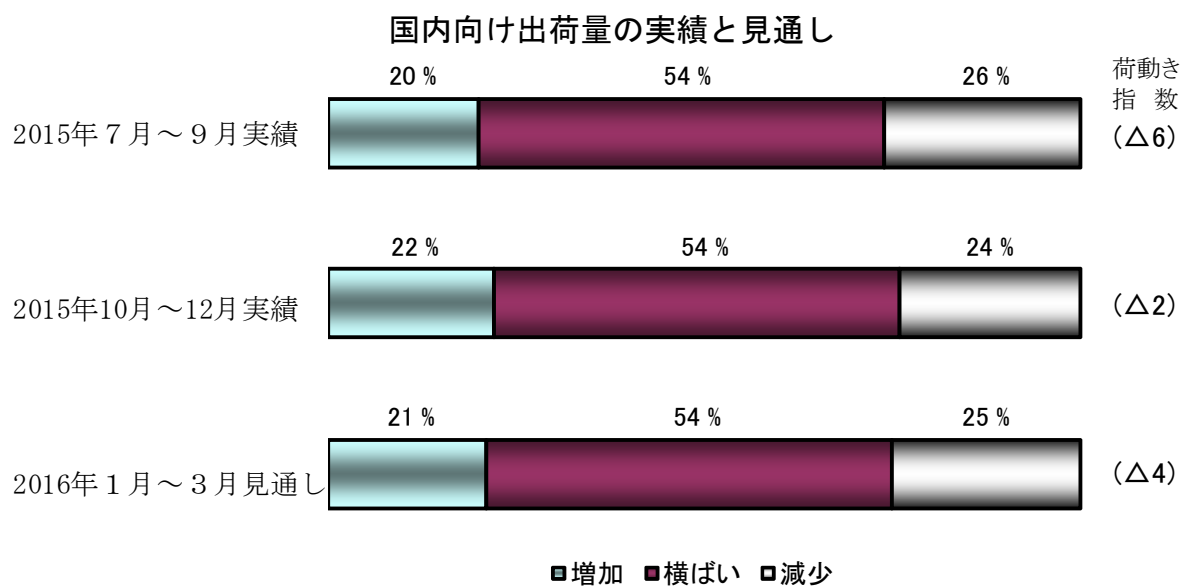
- 運賃・料金水準『動向指数』については、2015年10～12月実績（見込み）では、特別積合せトラック、国内航空、倉庫保管料において上昇する一方、鉄道コンテナで横ばい、一般トラック、内航コンテナ・RORO船では低下した。『動向指数』は、全機関においてプラスとなった。2016年1～3月見通しでは、鉄道コンテナ、倉庫保管料において上昇する一方、国内航空で横ばい、一般トラック、特別積合せトラック、内航コンテナ・RORO船では低下する。内航コンテナ・RORO船で『動向指数』がゼロ水準にとどまる以外は、残りの5機関ではプラスとなり、運賃・料金の上昇基調に変化はないが、ややマイルドになる。

- 売上高に対する物流コスト割合の『動向指数』については、2015年10～12月実績（見込み）では、輸送用機械が唯一マイナスを示し、残り14業種がプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス14で、前期実績から弱含み横ばいで推移した。2016年1～3月見通しでは、精密機械がゼロ水準に下降する一方、6業種において上昇する。業種全体の『動向指数』はプラス14と横ばいになり、物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。

－ 2. 国内向け出荷量の動向－

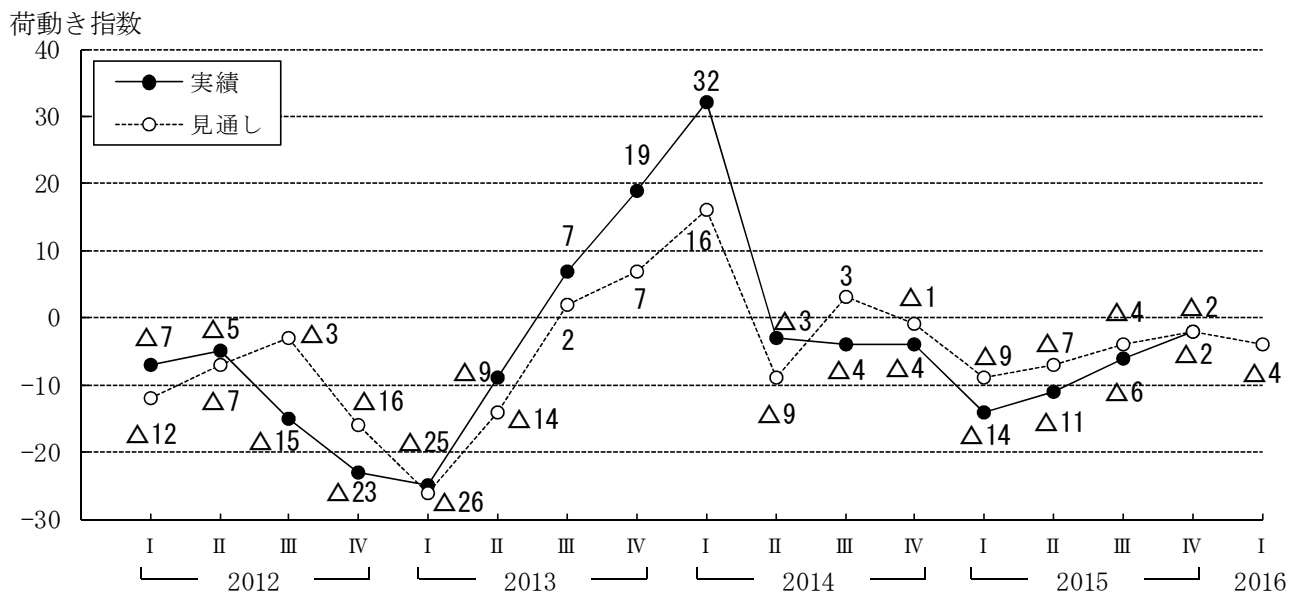
■ 2015年10～12月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2015年7～9月）実績から2ポイント上昇し22%となった。一方、「減少」との回答は前期より2ポイント低下して24%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は4ポイント上昇して△2となった。

■ 2016年1～3月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2015年10～12月）実績（見込み）からは弱含み横ばいで推移し21%となる一方、「減少」との回答は強含み横ばいで推移し25%になる。この結果、『荷動き指数』は2ポイント低下して△4と見込まれる。



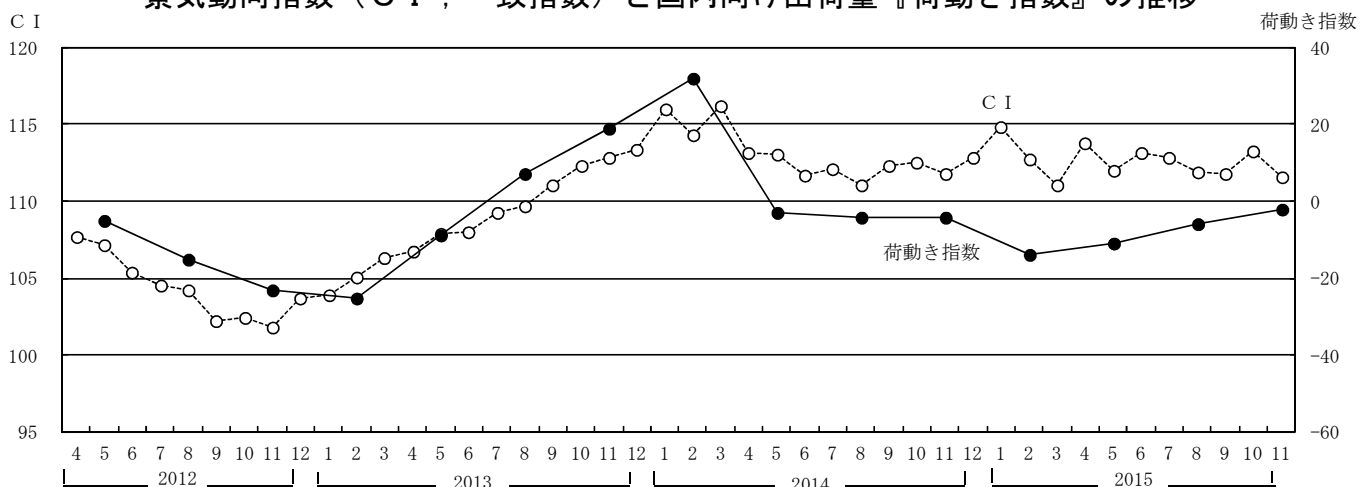
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、駆け込み需要の反動などから2014年4～6月実績において△3と水面下に沈み、以降マイナスの推移が続いている。2015年1～3月実績では、前年同期における大幅な盛り上がりの反動もあって、△14と一段の悪化がみられたが、この時点を底に緩やかながら改善方向に動き、10～12月実績（見込み）では△2まで戻した。ただし、2016年1～3月見通しでは△4と再び悪化が見込まれており、足元において荷動きの盛り上がりはまだ期待しづらい状況にある。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2016年Iの『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2015年IV期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の山は2012年3月、景気の谷は2012年11月となっている。

■ 2015年10～12月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、**全15業種中9業種において前期（2015年7～9月）実績よりも上昇した**。精密機械、消費財卸など7業種がプラス、パルプ・紙および窯業・土石がゼロ水準で、繊維・衣服、鉄鋼・非鉄など6業種がマイナスとなった。

■ 2016年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品がゼロ水準まで戻す一方、食料品・飲料、パルプ・紙、化学・プラスチックの3業種がマイナスに沈むなど7業種において悪化の動きがみられる。この結果、**プラスの業種は5業種にとどまり、2業種がゼロ水準で、8業種がマイナスになるとみられる**。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	105	30	58	12	18	106	27	54	19	8	107	19	60	21	△ 2
	繊維・衣服	41	7	64	29	△ 22	36	8	53	39	△ 31	36	16	56	28	△ 12
	木材・家具	38	24	50	26	△ 2	38	24	58	18	6	37	24	65	11	13
	パルプ・紙	50	22	42	36	△ 14	44	23	54	23	0	44	18	55	27	△ 9
	化学・プラスチック	115	23	59	18	5	114	18	66	16	2	113	12	70	18	△ 6
	窯業・土石	37	16	43	41	△ 25	34	26	48	26	0	34	21	58	21	0
	鉄鋼・非鉄	97	11	53	36	△ 25	96	20	45	35	△ 15	96	20	46	34	△ 14
	金属製品	54	22	50	28	△ 6	55	21	55	24	△ 3	55	24	52	24	0
	一般機械	89	20	51	29	△ 9	97	21	56	23	△ 2	97	20	47	33	△ 13
	電気機械	116	15	53	32	△ 17	120	17	53	30	△ 13	120	20	47	33	△ 13
	輸送用機械	90	17	56	27	△ 10	96	27	47	26	1	94	32	45	23	9
	精密機械	27	30	52	18	12	26	27	58	15	12	25	28	48	24	4
その他	52	21	56	23	△ 2	58	19	59	22	△ 3	58	21	57	22	△ 1	
計	911	19	54	27	△ 8	920	21	54	25	△ 4	916	20	54	26	△ 6	
卸売業	生産財	49	14	55	31	△ 17	47	28	55	17	11	46	24	54	22	2
	消費財	48	31	52	17	14	55	31	49	20	11	55	27	55	18	9
	計	97	22	54	24	△ 2	102	29	52	19	10	101	26	54	20	6
合計	1,008	20	54	26	△ 6	1,022	22	54	24	△ 2	1,017	21	54	25	△ 4	

■ 2015年10～12月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、東海および中国においてプラスを示し、東北および九州・沖縄ではゼロ水準で、関東、四国など5地域でマイナスとなった。前期（2015年7～9月）実績との比較では、**北陸・信越、四国、九州・沖縄で低下する一方、残りの6地域では改善の動きがみられた。**

■ 2016年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、東海、四国、九州・沖縄で改善の動きがみられる一方、残りの6地域では悪化の動きがみられる。**プラスの地域は東海および九州・沖縄の2地域にとどまり、回復の足取りは依然として鈍い。**

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

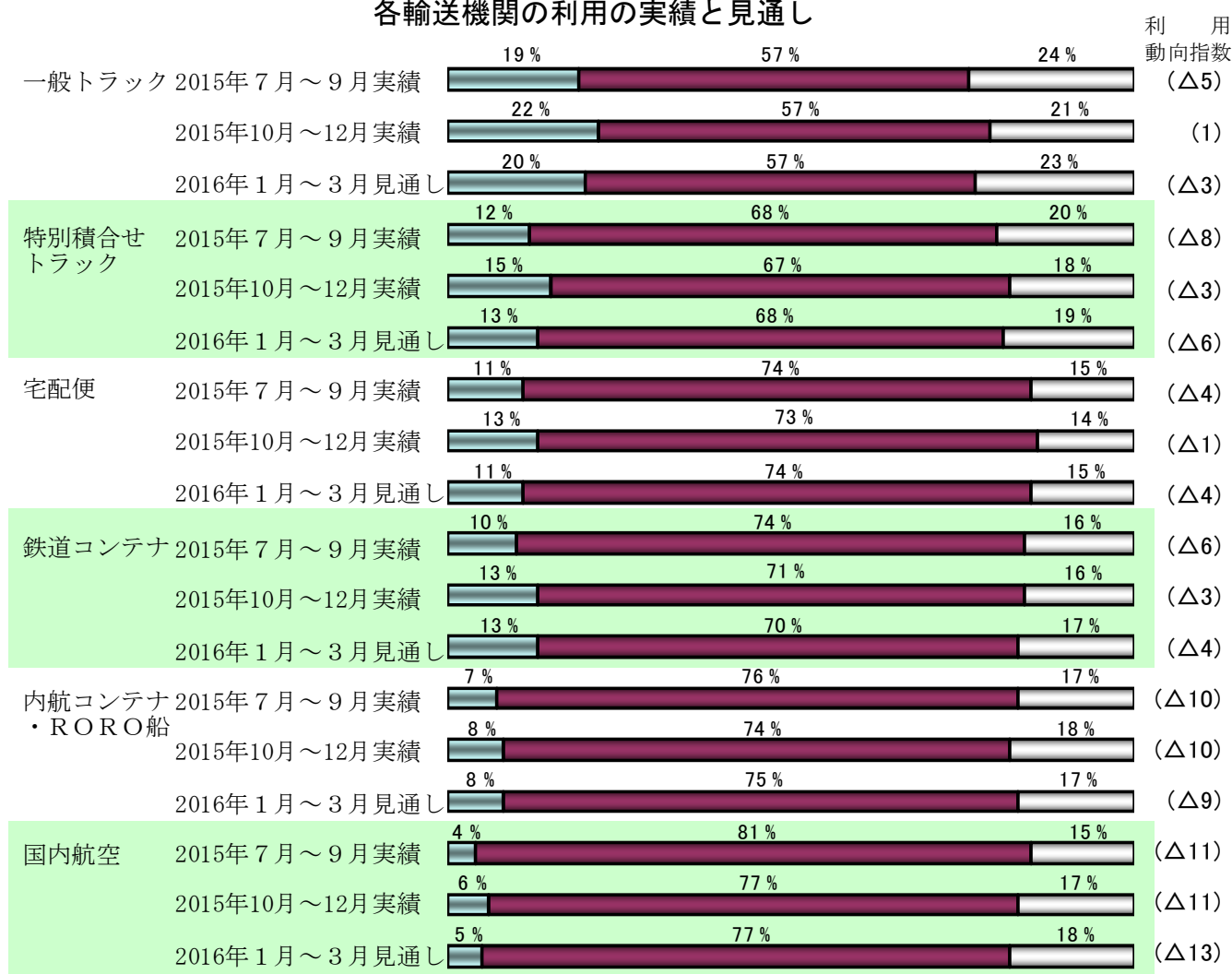
地 域	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北海道	52	19	56	25	△ 6	45	20	58	22	△ 2	45	16	60	24	△ 8
東 北	92	13	57	30	△ 17	99	23	54	23	0	99	20	57	23	△ 3
関 東	256	22	48	30	△ 8	277	21	52	27	△ 6	272	18	55	27	△ 9
北陸・信越	91	23	56	21	2	80	21	54	25	△ 4	80	18	56	26	△ 8
東 海	159	23	52	25	△ 2	159	25	52	23	2	159	28	50	22	6
近 畿	149	15	54	31	△ 16	151	22	54	24	△ 2	150	23	51	26	△ 3
中 国	88	19	63	18	1	94	26	60	14	12	95	23	51	26	△ 3
四 国	60	17	55	28	△ 11	59	12	61	27	△ 15	59	14	64	22	△ 8
九州・沖縄	61	26	59	15	11	58	24	52	24	0	58	26	52	22	4
合 計	1,008	20	54	26	△ 6	1,022	22	54	24	△ 2	1,017	21	54	25	△ 4

－ 3. 輸送機関利用の動向－

■ 2015年10～12月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、内航コンテナ・RORO船および国内航空において前期（2015年7～9月）実績から横ばいで推移する一方、その他の輸送機関で改善の動きがみられ、一般トラックでは2014年1～3月実績以来のプラスに転じた。しかし、**残りの5輸送機関において**は、引き続き『利用動向指数』はマイナスを示している。

■ 2016年1～3月の見通しでは、内航コンテナ・RORO船では改善方向に動くものの、残りの5輸送機関において『利用動向指数』が悪化し、**すべての輸送機関で『利用動向指数』がマイナスとなる**。各輸送機関とも利用回復に向けての足取りは依然として鈍い。

各輸送機関の利用の実績と見通し



■増加 ■横ばい □減少

(1) 一般トラック

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、生産財卸、消費財卸など9業種がプラスで、繊維・衣服、鉄鋼・非鉄など6業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2015年7～9月）実績から6ポイント上昇してプラス1となった。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料、パルプ・紙など5業種がマイナスに沈み、生産財卸もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と4ポイント低下する見通しであり、利用の回復に向けての動きはやや弱まる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	105	27	59	14	13	105	27	55	18	9	106	19	60	21	△2	
繊維・衣服	35	5	69	26	△21	33	6	67	27	△21	33	18	58	24	△6	
木材・家具	37	22	54	24	△2	38	26	53	21	5	37	22	65	13	9	
パルプ・紙	50	16	50	34	△18	44	23	57	20	3	43	19	53	28	△9	
化学・プラスチック	115	27	57	16	11	114	19	63	18	1	114	14	68	18	△4	
窯業・土石	38	18	48	34	△16	34	24	50	26	△2	34	20	56	24	△4	
鉄鋼・非鉄	99	11	54	35	△24	99	18	50	32	△14	99	16	51	33	△17	
金属製品	57	22	53	25	△3	56	20	57	23	△3	56	21	56	23	△2	
一般機械	90	18	58	24	△6	99	23	60	17	6	99	20	57	23	△3	
電気機械	111	15	56	29	△14	114	18	54	28	△10	114	19	54	27	△8	
輸送用機械	92	16	59	25	△9	96	24	55	21	3	95	31	44	25	6	
精密機械	24	13	74	13	0	24	12	71	17	△5	23	13	61	26	△13	
その他	53	21	58	21	0	61	25	56	19	6	61	18	62	20	△2	
計	906	19	57	24	△5	917	21	57	22	△1	914	19	57	24	△5	
卸売業	生産財	47	15	64	21	△6	43	26	58	16	10	40	23	54	23	0
	消費財	46	28	57	15	13	54	30	59	11	19	53	26	59	15	11
	計	93	22	60	18	4	97	28	59	13	15	93	25	57	18	7
合計	999	19	57	24	△5	1,014	22	57	21	1	1,007	20	57	23	△3	

(2) 特別積合せトラック

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙、消費財卸など6業種がプラス、木材・家具、一般機械、精密機械の3業種がゼロ水準で、繊維・衣服、電気機械など6業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2015年7～9月）実績から5ポイント上昇して△3となった。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具がプラスに浮上する一方、食料品・飲料、金属製品、一般機械の3業種がマイナスに沈むなど、10業種において悪化の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△6と3ポイント低下する見通しであり、利用の回復に向けての動きは弱まる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	73	30	62	8	22	76	22	66	12	10	76	14	70	16	△2	
繊維・衣服	27	7	63	30	△23	27	3	67	30	△27	27	15	59	26	△11	
木材・家具	26	15	54	31	△16	24	13	74	13	0	24	21	75	4	17	
パルプ・紙	30	23	47	30	△7	28	21	72	7	14	28	18	68	14	4	
化学・プラスチック	100	14	71	15	△1	100	12	67	21	△9	100	8	71	21	△13	
窯業・土石	29	10	59	31	△21	22	18	73	9	9	22	14	77	9	5	
鉄鋼・非鉄	60	3	72	25	△22	64	12	63	25	△13	63	10	73	17	△7	
金属製品	36	11	70	19	△8	38	13	76	11	2	38	13	71	16	△3	
一般機械	63	6	73	21	△15	66	17	66	17	0	66	11	68	21	△10	
電気機械	91	8	68	24	△16	91	10	63	27	△17	91	12	57	31	△19	
輸送用機械	75	12	73	15	△3	77	13	71	16	△3	75	15	68	17	△2	
精密機械	21	0	76	24	△24	19	11	78	11	0	19	11	78	11	0	
その他	41	7	71	22	△15	49	20	58	22	△2	49	14	66	20	△6	
計	672	12	68	20	△8	681	14	67	19	△5	678	13	68	19	△6	
卸売業	生産財	36	11	72	17	△6	35	23	60	17	6	34	21	62	17	4
	消費財	35	20	66	14	6	40	23	70	7	16	40	20	70	10	10
	計	71	15	70	15	0	75	23	65	12	11	74	20	66	14	6
合計	743	12	68	20	△8	756	15	67	18	△3	752	13	68	19	△6	

(3) 宅配便

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、金属製品、消費財卸など5業種がプラス、食料品・飲料がゼロ水準で、繊維・衣服、パルプ・紙など9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2015年7～9月）実績から3ポイント上昇して△1となった。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料および木材・家具がプラスに浮上する一方、一般機械がマイナスに沈むなど、7業種において悪化の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と3ポイント低下する見通しであり、利用の回復に向けての動きは弱まる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	83	12	78	10	2	89	13	74	13	0	88	14	76	10	4	
繊維・衣服	35	3	74	23	△20	34	9	62	29	△20	33	12	64	24	△12	
木材・家具	31	6	84	10	△4	30	10	73	17	△7	30	10	83	7	3	
パルプ・紙	29	21	66	13	8	23	9	74	17	△8	23	9	74	17	△8	
化学・プラスチック	100	8	81	11	△3	92	4	85	11	△7	92	3	85	12	△9	
窯業・土石	31	9	68	23	△14	26	8	88	4	4	26	8	88	4	4	
鉄鋼・非鉄	56	5	82	13	△8	60	8	77	15	△7	60	3	84	13	△10	
金属製品	51	16	73	11	5	48	17	83	0	17	48	15	75	10	5	
一般機械	81	12	72	16	△4	88	20	66	14	6	89	13	68	19	△6	
電気機械	103	10	73	17	△7	109	11	71	18	△7	109	12	63	25	△13	
輸送用機械	80	5	81	14	△9	79	8	77	15	△7	78	10	76	14	△4	
精密機械	27	7	71	22	△15	26	15	62	23	△8	24	17	58	25	△8	
その他	44	14	61	25	△11	50	24	66	10	14	50	20	72	8	12	
計	751	10	75	15	△5	754	12	74	14	△2	750	11	74	15	△4	
卸売業	生産財	39	23	62	15	8	33	15	64	21	△6	33	6	73	21	△15
	消費財	39	23	59	18	5	46	26	65	9	17	46	26	67	7	19
	計	78	23	60	17	6	79	22	65	13	9	79	18	70	12	6
合計	829	11	74	15	△4	833	13	73	14	△1	829	11	74	15	△4	

(4) 鉄道コンテナ

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄の3業種がプラス、繊維・衣服など6業種がゼロ水準で、パルプ・紙、その他の製造業など6業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2015年7～9月）実績から3ポイント上昇して△3となった。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服および木材・家具がプラスに浮上し、生産財卸もゼロ水準まで戻す一方、窯業・土石、一般機械、輸送用機械の3業種がマイナスに沈み、鉄鋼・非鉄もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と弱含み横ばいで推移する見通しで、利用の回復に向けての動きは弱まる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	49	16	72	12	4	46	30	59	11	19	45	29	58	13	16
繊維・衣服	10	20	60	20	0	11	18	64	18	0	11	27	64	9	18
木材・家具	19	0	89	11	△11	19	5	74	21	△16	19	16	74	10	6
パルプ・紙	35	14	57	29	△15	29	3	69	28	△25	28	3	68	29	△26
化学・プラスチック	85	14	74	12	2	84	14	75	11	3	84	14	74	12	2
窯業・土石	16	12	50	38	△26	9	22	56	22	0	9	0	78	22	△22
鉄鋼・非鉄	39	13	82	5	8	41	20	66	14	6	41	17	66	17	0
金属製品	20	10	90	0	10	19	0	84	16	△16	19	0	74	26	△26
一般機械	33	12	82	6	6	38	8	84	8	0	38	7	82	11	△4
電気機械	39	5	77	18	△13	34	3	76	21	△18	34	8	71	21	△13
輸送用機械	37	2	76	22	△20	39	18	64	18	0	37	11	73	16	△5
精密機械	13	8	84	8	0	12	8	84	8	0	12	8	84	8	0
その他	32	6	63	31	△25	33	6	67	27	△21	33	9	61	30	△21
計	427	11	74	15	△4	414	13	71	16	△3	410	13	70	17	△4
卸売業	14	14	72	14	0	11	9	64	27	△18	11	18	64	18	0
生産財	20	5	75	20	△15	20	10	80	10	0	20	15	70	15	0
消費財	34	8	74	18	△10	31	10	74	16	△6	31	16	68	16	0
計	461	10	74	16	△6	445	13	71	16	△3	441	13	70	17	△4
合計	461	10	74	16	△6	445	13	71	16	△3	441	13	70	17	△4

(5) 内航コンテナ・RORO船

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、窯業・土石など4業種がプラス、金属製品がゼロ水準で、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄など10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△10と、前期（2015年7～9月）実績から横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび一般機械がマイナスに沈み、窯業・土石もゼロ水準に下降する一方、木材・家具、輸送用機械など7業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△9と強含み横ばいで推移する見通しで、利用は引き続き減退するとみられる。

内航コンテナ・RORO船利用の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	33	12	79	9	3	30	10	73	17	△7	30	10	77	13	△3
繊維・衣服	5	0	60	40	△40	8	0	75	25	△25	7	0	86	14	△14
木材・家具	11	0	91	9	△9	11	18	73	9	9	11	27	73	0	27
パルプ・紙	24	12	50	38	△26	18	11	56	33	△22	18	11	50	39	△28
化学・プラスチック	62	11	83	6	5	62	8	86	6	2	62	5	89	6	△1
窯業・土石	12	25	50	25	0	8	38	38	24	14	8	25	50	25	0
鉄鋼・非鉄	28	0	89	11	△11	29	0	69	31	△31	29	3	69	28	△25
金属製品	15	0	93	7	△7	15	7	86	7	0	15	7	86	7	0
一般機械	29	7	86	7	0	34	18	68	14	4	34	14	68	18	△4
電気機械	36	8	75	17	△9	33	3	82	15	△12	33	6	82	12	△6
輸送用機械	31	3	65	32	△29	31	6	71	23	△17	30	10	70	20	△10
精密機械	11	0	73	27	△27	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
その他	23	4	61	35	△31	28	4	71	25	△21	28	7	64	29	△22
計	320	8	75	17	△9	317	8	75	17	△9	315	8	75	17	△9
卸売業															
生産財	7	0	86	14	△14	9	11	67	22	△11	9	11	67	22	△11
消費財	14	7	79	14	△7	15	13	67	20	△7	15	7	80	13	△6
計	21	5	81	14	△9	24	12	67	21	△9	24	8	75	17	△9
合計	341	7	76	17	△10	341	8	74	18	△10	339	8	75	17	△9

(6) 国内航空

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具および金属製品がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、その他の製造業、生産財卸など9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△11と、前期（2015年7～9月）実績から横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上する一方、パルプ・紙がマイナスに沈むなど6業種において悪化の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△13と2ポイント低下する見通しで、利用は引き続き減退するとみられる。

国内航空利用の実績と見通し

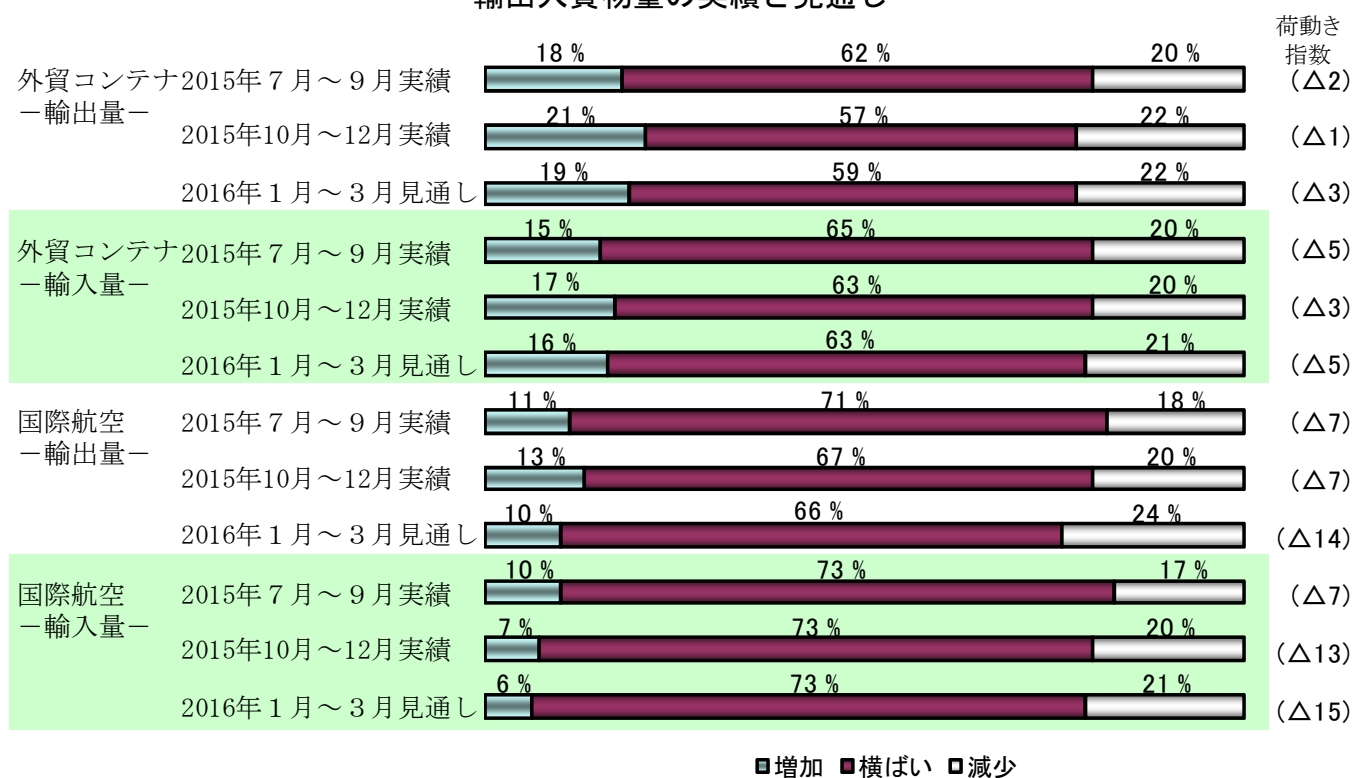
業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	28	4	75	21	△ 17	30	7	70	23	△ 16	30	3	74	23	△ 20	
繊維・衣服	7	0	100	0	0	8	0	100	0	0	8	12	88	0	12	
木材・家具	7	14	86	0	14	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11	
パルプ・紙	6	0	50	50	△ 50	3	0	100	0	0	3	0	67	33	△ 33	
化学・プラスチック	42	7	86	7	0	45	6	76	18	△ 12	45	4	78	18	△ 14	
窯業・土石	11	0	91	9	△ 9	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0	
鉄鋼・非鉄	21	0	95	5	△ 5	23	0	91	9	△ 9	23	4	87	9	△ 5	
金属製品	13	0	100	0	0	16	6	94	0	6	16	6	94	0	6	
一般機械	40	5	85	10	△ 5	45	4	76	20	△ 16	45	2	76	22	△ 20	
電気機械	57	7	70	23	△ 16	53	9	70	21	△ 12	53	9	68	23	△ 14	
輸送用機械	35	0	89	11	△ 11	30	0	93	7	△ 7	29	0	90	10	△ 10	
精密機械	17	11	65	24	△ 13	16	13	74	13	0	15	13	74	13	0	
その他	21	5	76	19	△ 14	23	4	66	30	△ 26	23	4	66	30	△ 26	
計	305	5	81	14	△ 9	307	5	79	16	△ 11	305	5	78	17	△ 12	
卸売業	生産財	14	7	64	29	△ 22	12	8	59	33	△ 25	12	8	59	33	△ 25
	消費財	16	6	81	13	△ 7	14	14	57	29	△ 15	14	7	72	21	△ 14
	計	30	7	73	20	△ 13	26	11	58	31	△ 20	26	8	65	27	△ 19
合計	335	4	81	15	△ 11	333	6	77	17	△ 11	331	5	77	18	△ 13	

－ 4. 輸出入貨物量の動向－

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナの輸出および輸入において前期（2015年7～9月）実績よりも上昇する一方、国際航空の輸出で横ばい、国際航空の輸入では低下となった。『荷動き指数』は、引き続きすべての輸送機関でマイナスを示した。

■ 2016年1～3月の見通しでは、すべての輸送機関において『荷動き指数』が悪化する見込みである。この結果、引き続きすべての輸送機関で『荷動き指数』はマイナスになり、荷動きの減退圧力が強まるとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外資コンテナ ー輸出ー

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料、窯業・土石など7業種がプラス、精密機械およびその他の製造業がゼロ水準で、鉄鋼・非鉄、電気機械など6業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△1で、前期（2015年7～9月）実績から強含み横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械およびその他の製造業がマイナスに沈み、化学・プラスチックおよび窯業・土石もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と2ポイント低下する見通しで、荷動き回復に向けての動きはやや弱まる。

外資コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	19	21	63	16	5	23	43	53	4	39	23	35	61	4	31	
繊維・衣服	13	0	69	31	△31	13	15	62	23	△8	13	0	77	23	△23	
木材・家具	6	50	50	0	50	5	60	40	0	60	5	60	40	0	60	
パルプ・紙	18	39	44	17	22	14	29	50	21	8	14	29	57	14	15	
化学・プラスチック	64	22	67	11	11	66	21	59	20	1	66	20	60	20	0	
窯業・土石	18	33	45	22	11	18	33	50	17	16	18	28	44	28	0	
鉄鋼・非鉄	43	19	58	23	△4	43	9	51	40	△31	43	12	53	35	△23	
金属製品	20	30	55	15	15	19	16	79	5	11	19	16	84	0	16	
一般機械	58	12	66	22	△10	67	22	51	27	△5	67	19	51	30	△11	
電気機械	63	11	65	24	△13	56	14	65	21	△7	56	14	63	23	△9	
輸送用機械	56	14	56	30	△16	58	21	57	22	△1	57	19	60	21	△2	
精密機械	15	13	67	20	△7	13	15	70	15	0	13	15	62	23	△8	
その他	26	12	81	7	5	31	23	54	23	0	31	22	52	26	△4	
計	419	18	62	20	△2	426	21	57	22	△1	425	19	59	22	△3	
卸売業	生産財	10	10	70	20	△10	11	27	73	0	27	11	18	82	0	18
	消費財	9	22	67	11	11	12	8	50	42	△34	12	8	59	33	△25
	計	19	16	68	16	0	23	17	61	22	△5	23	13	70	17	△4
合計	438	18	62	20	△2	449	21	57	22	△1	448	19	59	22	△3	

(2) 外資コンテナ ー輸入ー

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、一般機械、輸送用機械など9業種がプラスで、鉄鋼・非鉄、電気機械など6業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△3で、前期（2015年7～9月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品がゼロ水準まで戻す一方、パルプ・紙および精密機械がマイナスに沈み、繊維・衣服もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△5と2ポイント低下する見通しで、荷動き回復に向けての動きは弱まる。

外資コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	21	19	71	10	9	20	15	80	5	10	20	15	75	10	5	
繊維・衣服	13	15	54	31	△16	13	31	46	23	8	13	23	54	23	0	
木材・家具	12	17	58	25	△8	11	27	64	9	18	11	18	73	9	9	
パルプ・紙	8	25	50	25	0	6	33	50	17	16	6	17	50	33	△16	
化学・プラスチック	63	14	80	6	8	61	15	74	11	4	61	11	81	8	3	
窯業・土石	20	25	35	40	△15	19	21	47	32	△11	19	21	32	47	△26	
鉄鋼・非鉄	26	8	69	23	△15	30	13	54	33	△20	30	16	57	27	△11	
金属製品	18	17	66	17	0	15	7	80	13	△6	15	13	74	13	0	
一般機械	53	13	74	13	0	58	22	59	19	3	58	22	57	21	1	
電気機械	58	14	60	26	△12	54	7	62	31	△24	54	13	56	31	△18	
輸送用機械	56	14	61	25	△11	60	17	70	13	4	59	22	66	12	10	
精密機械	15	13	67	20	△7	15	20	67	13	7	15	13	67	20	△7	
その他	27	19	67	14	5	28	10	61	29	△19	28	4	71	25	△21	
計	390	15	66	19	△4	390	16	64	20	△4	389	16	64	20	△4	
卸売業	生産財	15	20	47	33	△13	15	27	53	20	7	14	29	57	14	15
	消費財	12	17	58	25	△8	16	24	38	38	△14	16	24	38	38	△14
	計	27	18	52	30	△12	31	26	45	29	△3	30	27	46	27	0
合計	417	15	65	20	△5	421	17	63	20	△3	419	16	63	21	△5	

(3) 国際航空 ー輸出ー

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、化学・プラスチック、窯業・土石、生産財卸の3業種がプラス、木材・家具など4業種がゼロ水準で、一般機械、電気機械など8業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△7で、前期（2015年7～9月）実績から横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品がプラスに浮上する一方、化学・プラスチック、窯業・土石、輸送用機械、精密機械の4業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△14と7ポイント低下する見通しで、荷動きにはいっそうの減退が見込まれる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12	
繊維・衣服	10	0	90	10	△10	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20	
木材・家具	2	0	100	0	0	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0	
パルプ・紙	2	0	50	50	△50	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0	
化学・プラスチック	40	13	78	9	4	44	14	75	11	3	44	9	73	18	△9	
窯業・土石	11	18	55	27	△9	10	30	50	20	10	10	10	70	20	△10	
鉄鋼・非鉄	24	8	79	13	△5	25	8	68	24	△16	25	8	72	20	△12	
金属製品	15	7	80	13	△6	15	13	67	20	△7	15	20	73	7	13	
一般機械	58	12	76	12	0	60	10	68	22	△12	60	8	64	28	△20	
電気機械	70	14	62	24	△10	69	17	55	28	△11	68	10	53	37	△27	
輸送用機械	44	7	70	23	△16	41	17	66	17	0	40	14	68	18	△4	
精密機械	19	26	48	26	0	18	22	56	22	0	18	17	50	33	△16	
その他	17	6	76	18	△12	24	12	67	21	△9	24	12	67	21	△9	
計	320	11	71	18	△7	328	14	66	20	△6	326	10	66	24	△14	
卸売業	生産財	9	11	67	22	△11	11	9	91	0	9	11	9	91	0	9
	消費財	8	12	63	25	△13	6	0	50	50	△50	6	0	50	50	△50
	計	17	11	65	24	△13	17	6	76	18	△12	17	6	76	18	△12
合計	337	11	71	18	△7	345	13	67	20	△7	343	10	66	24	△14	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、食料品・飲料など6業種がゼロ水準にとどまり、一般機械、電気機械など9業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△13で、前期（2015年7～9月）実績から6ポイント低下した。

■ 2016年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がプラスに浮上する一方、食料品・飲料がマイナスに沈むなど、7業種において悪化の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△15と2ポイント低下する見通しで、荷動きにはいっそうの減退が見込まれる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

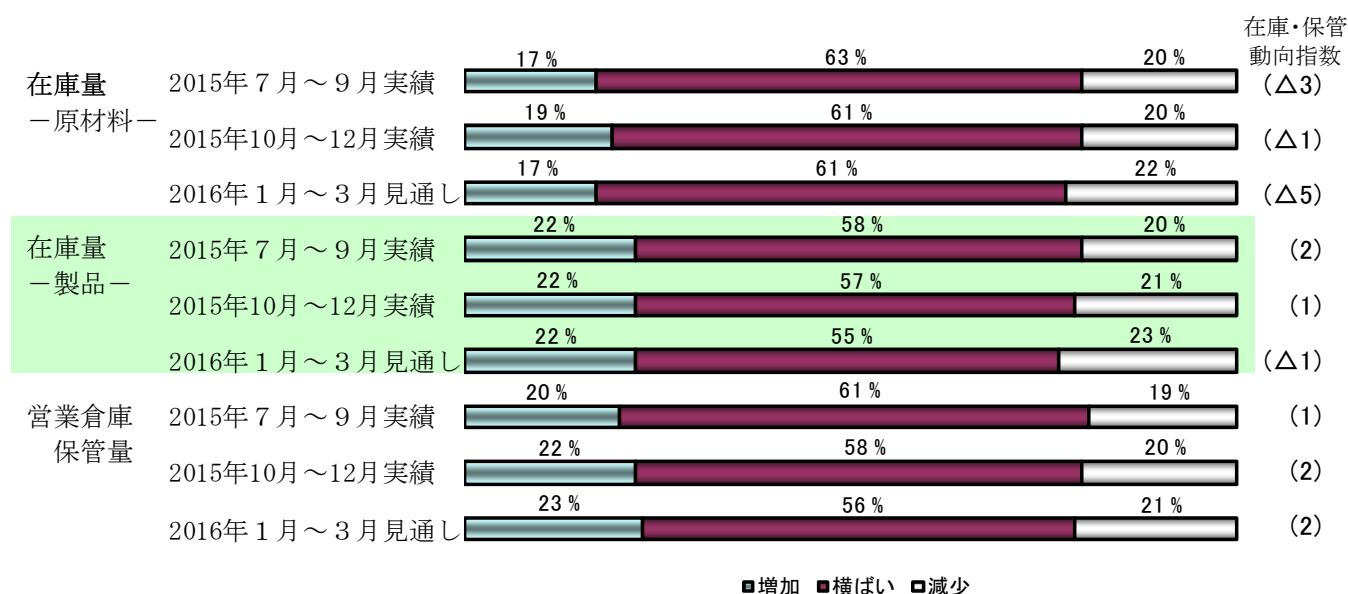
業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	10	0	70	30	△30	10	10	80	10	0	10	0	90	10	△10	
繊維・衣服	6	0	83	17	△17	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0	
木材・家具	2	0	100	0	0	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0	
パルプ・紙	2	0	50	50	△50	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0	
化学・プラスチック	35	14	80	6	8	37	8	81	11	△3	37	3	86	11	△8	
窯業・土石	10	20	50	30	△10	9	11	67	22	△11	9	11	67	22	△11	
鉄鋼・非鉄	17	11	71	18	△7	17	12	76	12	0	17	18	71	11	7	
金属製品	14	0	86	14	△14	12	8	84	8	0	12	8	84	8	0	
一般機械	47	6	77	17	△11	46	4	74	22	△18	46	4	70	26	△22	
電気機械	58	10	74	16	△6	54	6	63	31	△25	53	4	60	36	△32	
輸送用機械	39	13	64	23	△10	38	11	76	13	△2	37	5	81	14	△9	
精密機械	19	11	63	26	△15	17	11	71	18	△7	17	12	59	29	△17	
その他	16	6	81	13	△7	23	9	61	30	△21	23	4	70	26	△22	
計	275	9	74	17	△8	272	8	73	19	△11	270	6	73	21	△15	
卸売業	生産財	10	30	60	10	20	10	0	80	20	△20	10	0	90	10	△10
	消費財	9	0	89	11	△11	8	12	50	38	△26	8	12	50	38	△26
	計	19	16	74	10	6	18	5	67	28	△23	18	6	72	22	△16
合計	294	10	73	17	△7	290	7	73	20	△13	288	6	73	21	△15	

－ 5. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2015年10～12月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫および営業倉庫保管量において、『動向指数』が前期（2015年7～9月）実績より小幅に上昇する一方、製品在庫では弱含み横ばいで推移した。この結果、**製品在庫および営業倉庫保管量では『動向指数』がプラス、原材料在庫ではマイナスと、ややバラツキがみられる。**

■ 2016年1～3月の見通しについては、営業倉庫保管量において『動向指数』が横ばいで推移する一方、原材料在庫および製品在庫では低下する見込みである。この結果、**営業倉庫保管量で『動向指数』がプラス、原材料在庫および製品在庫ではマイナスと、バラツキがみられる。**

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、食料品・飲料、木材・家具など6業種がプラス、パルプ・紙、窯業・土石、生産財卸の3業種がゼロ水準で、繊維・衣服、鉄鋼・非鉄など6業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△1で、前期（2015年7～9月）実績から2ポイント上昇した。

■ 2016年1～3月の『在庫動向指数』見通しでは、窯業・土石および生産財卸がプラスに浮上し、その他の製造業もゼロ水準まで戻す一方、電気機械など4業種がマイナスに沈み、精密機械もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△5と4ポイント低下する見込みで、原材料在庫は縮小の動きが続くとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	91	20	67	13	7	94	20	65	15	5	94	21	62	17	4	
繊維・衣服	39	17	62	21	△4	33	15	61	24	△9	33	6	64	30	△24	
木材・家具	34	21	62	17	4	35	43	40	17	26	35	26	57	17	9	
パルプ・紙	45	16	62	22	△6	41	17	66	17	0	41	12	66	22	△10	
化学・プラスチック	111	20	66	14	6	111	14	66	20	△6	111	19	60	21	△2	
窯業・土石	37	18	41	41	△23	32	16	68	16	0	32	16	72	12	4	
鉄鋼・非鉄	89	16	63	21	△5	94	16	55	29	△13	95	6	67	27	△21	
金属製品	45	20	60	20	0	47	8	77	15	△7	47	11	66	23	△12	
一般機械	80	19	65	16	3	87	24	56	20	4	87	18	60	22	△4	
電気機械	98	20	61	19	1	104	20	64	16	4	104	17	62	21	△4	
輸送用機械	83	13	67	20	△7	88	22	58	20	2	87	21	57	22	△1	
精密機械	23	26	52	22	4	24	29	46	25	4	24	25	50	25	0	
その他	44	14	68	18	△4	53	17	58	25	△8	52	17	66	17	0	
計	819	18	63	19	△1	843	19	61	20	△1	842	17	62	21	△4	
卸売業	生産財	25	8	72	20	△12	26	19	62	19	0	25	28	48	24	4
	消費財	31	16	52	32	△16	33	18	58	24	△6	33	18	58	24	△6
	計	56	12	61	27	△15	59	19	59	22	△3	58	22	54	24	△2
合計	875	17	63	20	△3	902	19	61	20	△1	900	17	61	22	△5	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、窯業・土石、生産財卸など8業種がプラス、金属製品、輸送用機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はプラス1で、前期（2015年7～9月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『在庫動向指数』見通しでは、その他の製造業がプラスに浮上し、消費財卸もゼロ水準まで戻す一方、食料品・飲料および繊維・衣服がマイナスに沈むなど、8業種において低下の動きがみられる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△1と2ポイント低下する見込みで、製品在庫は小幅ながら縮小に転じるとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	92	22	63	15	7	94	26	54	20	6	93	19	58	23	△4
	繊維・衣服	38	32	47	21	11	34	24	59	17	7	34	9	65	26	△17
	木材・家具	35	29	46	25	4	37	24	46	30	△6	37	16	60	24	△8
	パルプ・紙	47	43	40	17	26	44	27	55	18	9	44	25	57	18	7
	化学・プラスチック	115	21	59	20	1	116	19	63	18	1	116	22	57	21	1
	窯業・土石	38	29	42	29	0	33	36	43	21	15	33	33	58	9	24
	鉄鋼・非鉄	91	21	59	20	1	96	23	49	28	△5	96	15	57	28	△13
	金属製品	50	18	58	24	△6	50	20	52	28	△8	50	24	48	28	△4
	一般機械	85	20	65	15	5	92	26	54	20	6	92	28	49	23	5
	電気機械	106	19	63	18	1	105	24	58	18	6	105	24	53	23	1
	輸送用機械	88	13	64	23	△10	93	14	63	23	△9	92	19	57	24	△5
精密機械	26	19	54	27	△8	25	16	64	20	△4	24	17	58	25	△8	
その他	46	22	52	26	△4	57	18	61	21	△3	56	23	57	20	3	
計	857	22	58	20	2	876	22	57	21	1	872	21	56	23	△2	
卸売業	生産財	41	22	56	22	0	40	25	63	12	13	39	31	54	15	16
	消費財	42	14	60	26	△12	49	22	54	24	△2	49	24	52	24	0
	計	83	18	58	24	△6	89	24	57	19	5	88	27	53	20	7
合計	940	22	58	20	2	965	22	57	21	1	960	22	55	23	△1	

(3) 営業倉庫保管量

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『保管動向指数』は、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄など7業種がプラスで、金属製品、輸送用機械など8業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』はプラス2で、前期（2015年7～9月）実績から強含み横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『保管動向指数』見通しでは、木材・家具、生産財卸、消費財卸の3業種がプラスに浮上する一方、繊維・衣服、鉄鋼・非鉄など7業種において低下する。この結果、業種全体の『保管動向指数』はプラス2と横ばいの推移が見込まれ、営業倉庫保管量はわずかながら増加の動きが続くとみられる。

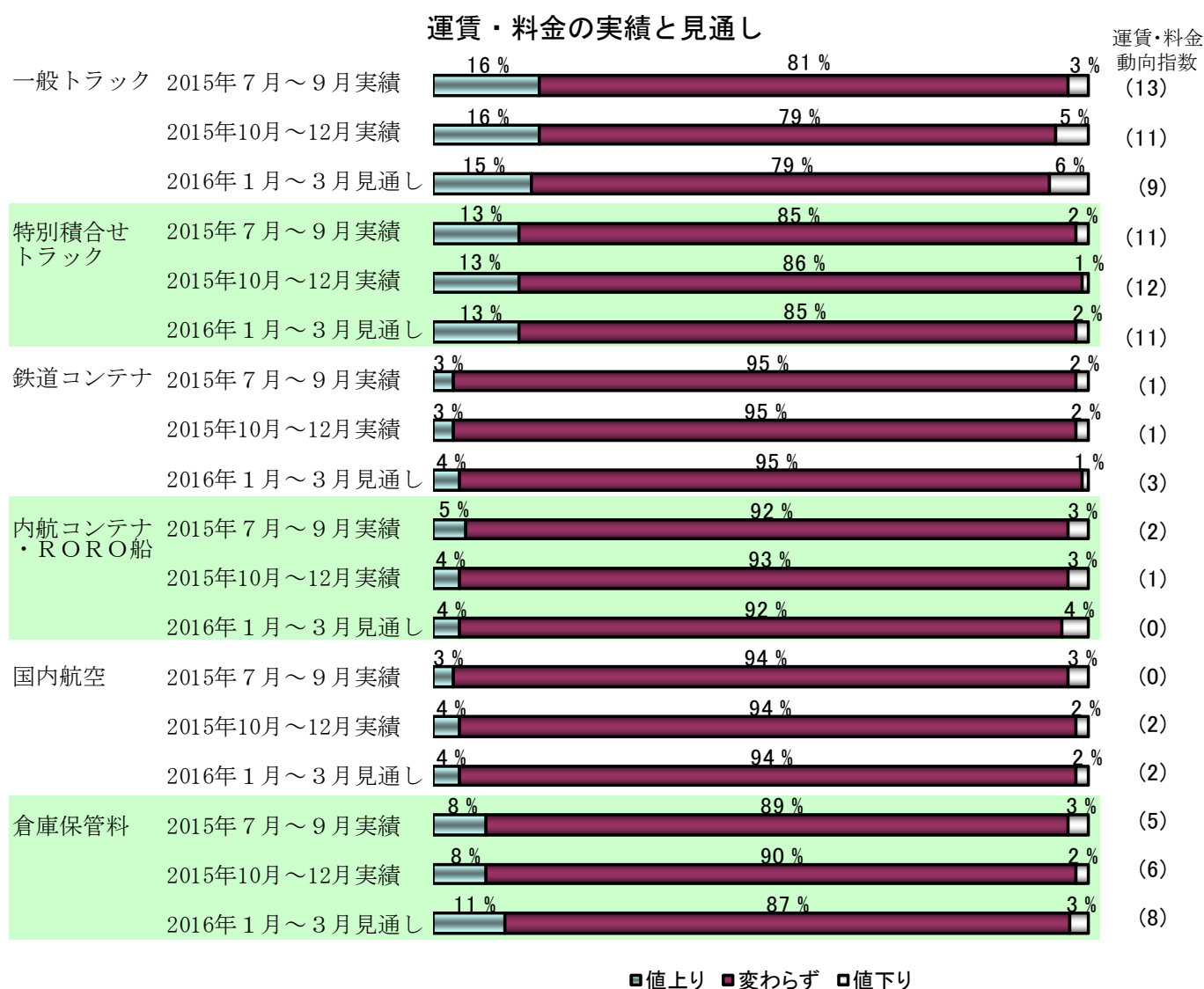
営業倉庫保管量の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	80	25	55	20	5	85	27	54	19	8	85	27	52	21	6	
繊維・衣服	22	9	64	27	△18	24	17	54	29	△12	23	17	44	39	△22	
木材・家具	29	28	55	17	11	31	22	52	26	△4	31	23	61	16	7	
パルプ・紙	41	37	51	12	25	35	31	58	11	20	35	26	60	14	12	
化学・プラスチック	99	23	58	19	4	93	26	57	17	9	93	28	52	20	8	
窯業・土石	21	14	53	33	△19	20	20	65	15	5	20	30	50	20	10	
鉄鋼・非鉄	69	20	63	17	3	64	25	63	12	13	64	19	64	17	2	
金属製品	31	16	71	13	3	29	17	52	31	△14	29	17	59	24	△7	
一般機械	61	28	62	10	18	62	23	58	19	4	62	24	55	21	3	
電気機械	76	13	65	22	△9	72	26	59	15	11	72	24	60	16	8	
輸送用機械	64	12	55	33	△21	67	19	50	31	△12	66	24	44	32	△8	
精密機械	17	6	76	18	△12	14	7	79	14	△7	13	8	77	15	△7	
その他	43	26	51	23	3	43	16	56	28	△12	43	19	53	28	△9	
計	653	21	59	20	1	639	23	57	20	3	636	23	55	22	1	
卸売業	生産財	37	16	73	11	5	33	18	61	21	△3	32	28	56	16	12
	消費財	39	15	75	10	5	45	13	69	18	△5	45	16	71	13	3
	計	76	16	74	10	6	78	15	66	19	△4	77	21	65	14	7
合計	729	20	61	19	1	717	22	58	20	2	713	23	56	21	2	

－ 6. 運賃・料金の動向－

■ 2015年10～12月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、特別積合せトラック、国内航空、倉庫保管料において前期（2015年7～9月）実績よりも上昇する一方、鉄道コンテナで横ばい、一般トラックおよび内航コンテナ・ROR船では低下した。『動向指数』は、すべての機関においてプラスとなった。

■ 2016年1～3月の『動向指数』見通しについては、鉄道コンテナおよび倉庫保管料において上昇する一方、国内航空で横ばい、一般トラック、特別積合せトラック、内航コンテナ・ROR船では低下する。この結果、内航コンテナ・ROR船で『動向指数』がゼロ水準にとどまる以外は、残りの5機関ではプラスを維持し、運賃・料金の上昇基調に変化はないが、ややマイルドになるとみられる。



(1) 一般トラック運賃

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、鉄鋼・非鉄が唯一マイナスを示し、精密機械がゼロ水準で、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス11で、前期(2015年7～9月)実績から2ポイント低下した。

■ 2016年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石がゼロ水準に下降するなど6業種において低下が見込まれる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス9と2ポイント低下する見通しで、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、基調はややマイルドになるとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	105	24	73	3	21	104	34	64	2	32	104	25	73	2	23
繊維・衣服	36	11	89	0	11	32	12	88	0	12	33	18	82	0	18
木材・家具	36	14	86	0	14	38	24	76	0	24	37	24	76	0	24
パルプ・紙	48	19	75	6	13	44	9	89	2	7	44	9	86	5	4
化学・プラスチック	114	20	77	3	17	113	13	84	3	10	113	12	84	4	8
窯業・土石	36	17	81	2	15	34	15	82	3	12	33	12	76	12	0
鉄鋼・非鉄	98	15	75	10	5	97	9	77	14	△5	95	7	78	15	△8
金属製品	56	18	79	3	15	56	11	86	3	8	56	13	82	5	8
一般機械	88	11	89	0	11	98	8	89	3	5	97	8	90	2	6
電気機械	110	12	84	4	8	111	12	83	5	7	110	13	83	4	9
輸送用機械	88	8	86	6	2	94	15	73	12	3	93	16	73	11	5
精密機械	25	8	88	4	4	25	8	84	8	0	24	8	84	8	0
その他	51	22	78	0	22	60	12	83	5	7	60	10	83	7	3
計	891	16	81	3	13	906	14	81	5	9	899	14	81	5	9
卸売業															
生産財	45	16	84	0	16	42	19	79	2	17	41	24	74	2	22
消費財	46	26	72	2	24	55	33	65	2	31	55	35	64	1	34
計	91	21	78	1	20	97	27	71	2	25	96	30	68	2	28
合計	982	16	81	3	13	1,003	16	79	5	11	995	15	79	6	9

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具、金属製品、一般機械の3業種がゼロ水準で、残り12業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス12で、前期(2015年7～9月)実績から強含み横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具、金属製品、一般機械の3業種がプラスに浮上する一方、食料品・飲料、消費財卸など6業種において低下が見込まれる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス11と弱含み横ばいで推移する見通しで、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、基調はややマイルドになるとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	73	29	70	1	28	74	27	72	1	26	74	24	73	3	21	
繊維・衣服	26	15	85	0	15	26	12	88	0	12	26	19	81	0	19	
木材・家具	25	0	96	4	△4	23	0	100	0	0	23	4	96	0	4	
パルプ・紙	28	18	82	0	18	26	8	92	0	8	26	12	81	7	5	
化学・プラスチック	98	16	83	1	15	100	19	81	0	19	100	16	83	1	15	
窯業・土石	28	18	75	7	11	21	24	76	0	24	21	24	76	0	24	
鉄鋼・非鉄	59	12	81	7	5	62	8	89	3	5	62	6	92	2	4	
金属製品	37	3	94	3	0	38	0	100	0	0	38	11	89	0	11	
一般機械	63	0	100	0	0	68	1	98	1	0	67	3	96	1	2	
電気機械	89	7	90	3	4	89	6	91	3	3	89	7	90	3	4	
輸送用機械	72	11	83	6	5	78	9	86	5	4	77	10	86	4	6	
精密機械	20	15	80	5	10	19	11	84	5	6	19	11	84	5	6	
その他	41	20	80	0	20	48	12	88	0	12	48	13	85	2	11	
計	659	13	85	2	11	672	11	87	2	9	670	12	86	2	10	
卸売業	生産財	34	9	91	0	9	33	21	76	3	18	33	21	76	3	18
	消費財	35	11	86	3	8	40	30	70	0	30	40	25	73	2	23
	計	69	10	89	1	9	73	26	73	1	25	73	23	74	3	20
合計	728	13	85	2	11	745	13	86	1	12	743	13	85	2	11	

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、生産財卸など6業種がプラス、木材・家具など5業種がゼロ水準で、化学・プラスチックなど4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期(2015年7～9月)実績から横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準に下降する一方、化学・プラスチックおよび鉄鋼・非鉄がプラスに浮上し、一般機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス3と2ポイント上昇する見通しで、運賃水準の上昇圧力はわずかながら強まるとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	51	6	92	2	4	47	6	94	0	6	47	9	91	0	9	
繊維・衣服	9	0	100	0	0	12	8	92	0	8	11	9	91	0	9	
木材・家具	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0	
パルプ・紙	34	6	94	0	6	28	4	96	0	4	28	4	92	4	0	
化学・プラスチック	84	4	95	1	3	82	1	97	2	△1	82	2	98	0	2	
窯業・土石	17	12	88	0	12	10	10	90	0	10	10	10	90	0	10	
鉄鋼・非鉄	41	5	93	2	3	41	2	96	2	0	41	5	93	2	3	
金属製品	20	0	95	5	△5	20	0	95	5	△5	20	0	95	5	△5	
一般機械	34	3	97	0	3	35	0	97	3	△3	35	0	100	0	0	
電気機械	39	0	97	3	△3	34	0	100	0	0	34	0	100	0	0	
輸送用機械	36	0	97	3	△3	39	3	94	3	0	38	3	94	3	0	
精密機械	14	0	86	14	△14	13	0	92	8	△8	13	0	92	8	△8	
その他	30	3	97	0	3	32	3	94	3	0	32	3	94	3	0	
計	427	3	95	2	1	411	2	96	2	0	409	3	96	1	2	
卸売業	生産財	12	8	92	0	8	12	17	83	0	17	12	8	92	0	8
	消費財	19	5	95	0	5	19	5	95	0	5	19	11	89	0	11
	計	31	6	94	0	6	31	10	90	0	10	31	10	90	0	10
合計	458	3	95	2	1	442	3	95	2	1	440	4	95	1	3	

(4) 内航コンテナ・RORO運賃

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石など5業種がプラス、繊維・衣服など6業種がゼロ水準で、輸送用機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期(2015年7～9月)実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックが唯一上昇する一方、木材・家具がゼロ水準に下降するなど、4業種において低下する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準と弱含み横ばいで推移する見通しで、運賃水準は横ばいになるとみられる。

内航コンテナ・RORO運賃の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	32	3	97	0	3	30	7	93	0	7	30	7	90	3	4	
繊維・衣服	3	0	100	0	0	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0	
木材・家具	12	0	92	8	△8	8	12	88	0	12	8	0	100	0	0	
パルプ・紙	23	9	87	4	5	19	5	84	11	△6	19	5	84	11	△6	
化学・プラスチック	58	3	92	5	△2	60	3	95	2	1	60	5	92	3	2	
窯業・土石	11	27	64	9	18	6	33	50	17	16	6	33	50	17	16	
鉄鋼・非鉄	29	3	94	3	0	28	4	89	7	△3	28	4	89	7	△3	
金属製品	13	0	100	0	0	12	0	100	0	0	11	0	100	0	0	
一般機械	30	7	93	0	7	32	0	100	0	0	31	0	100	0	0	
電気機械	37	3	94	3	0	30	0	100	0	0	30	0	100	0	0	
輸送用機械	30	3	94	3	0	29	3	87	10	△7	28	3	86	11	△8	
精密機械	13	0	85	15	△15	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9	
その他	23	13	87	0	13	26	8	92	0	8	26	8	88	4	4	
計	314	5	91	4	1	297	4	93	3	1	294	4	92	4	0	
卸売業	生産財	7	0	100	0	0	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	消費財	13	0	100	0	0	16	0	100	0	0	16	6	88	6	0
	計	20	0	100	0	0	25	0	100	0	0	25	4	92	4	0
合計	334	5	92	3	2	322	4	93	3	1	319	4	92	4	0	

(5) 国内航空運賃

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、電気機械など7業種がプラス、木材・家具など5業種がゼロ水準で、輸送用機械、精密機械、その他の製造業の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期(2015年7～9月)実績から2ポイント上昇した。

■ 2016年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがゼロ水準に下降する一方、電気機械が上昇する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス2と横ばいで推移する見通しで、運賃水準はわずかながら上昇するとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	25	4	88	8	△4	25	16	80	4	12	25	16	80	4	12	
繊維・衣服	9	11	89	0	11	8	12	88	0	12	8	12	88	0	12	
木材・家具	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0	
パルプ・紙	3	33	67	0	33	3	33	67	0	33	3	33	67	0	33	
化学・プラスチック	36	3	94	3	0	41	5	93	2	3	41	2	96	2	0	
窯業・土石	10	20	70	10	10	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0	
鉄鋼・非鉄	21	5	95	0	5	22	0	100	0	0	22	0	100	0	0	
金属製品	15	0	100	0	0	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0	
一般機械	42	0	98	2	△2	44	0	100	0	0	44	0	100	0	0	
電気機械	55	4	91	5	△1	53	6	92	2	4	52	8	90	2	6	
輸送用機械	32	0	100	0	0	30	0	97	3	△3	29	0	97	3	△3	
精密機械	20	0	85	15	△15	17	0	88	12	△12	16	0	88	12	△12	
その他	21	0	100	0	0	23	0	96	4	△4	23	0	96	4	△4	
計	297	3	93	4	△1	296	4	94	2	2	293	4	94	2	2	
卸売業	生産財	11	0	100	0	0	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
	消費財	17	6	94	0	6	14	7	93	0	7	14	7	93	0	7
	計	28	4	96	0	4	27	7	93	0	7	27	7	93	0	7
合計	325	3	94	3	0	323	4	94	2	2	320	4	94	2	2	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 2015年10～12月実績（見込み）の『料金動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、金属製品がゼロ水準で、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス6で、前期（2015年7～9月）実績から強含み横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『料金動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がマイナスに沈む一方、過半数の8業種において上昇の動きがみられる。業種全体の『料金動向指数』はプラス7と強含み横ばいの推移が見込まれ、料金水準の上昇圧力はわずかながら強まるとみられる。

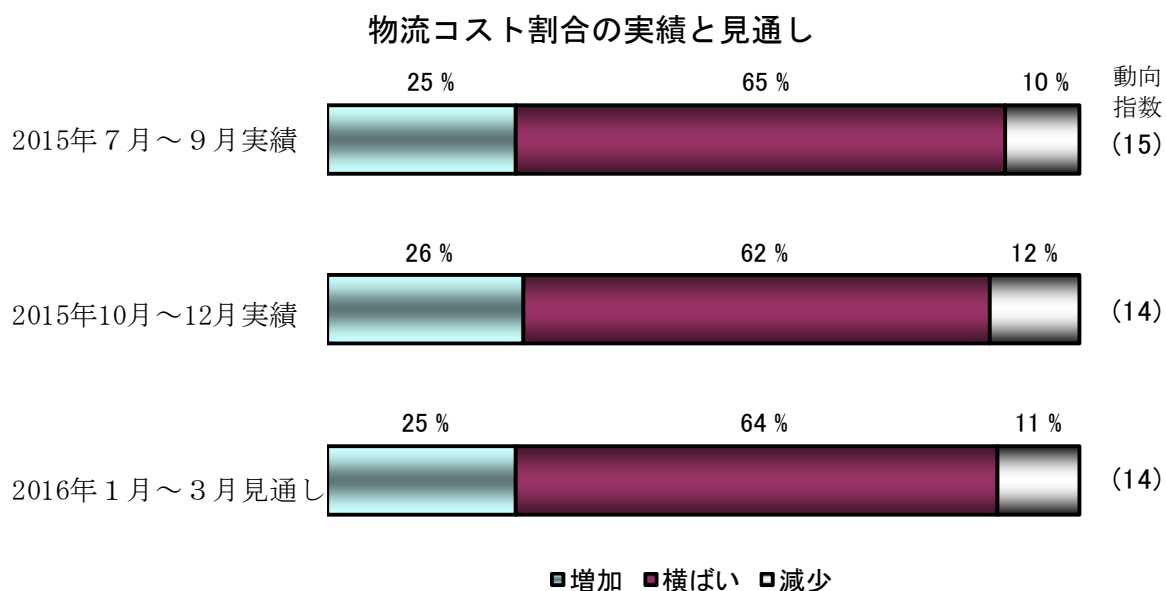
営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	65	14	83	3	11	67	19	78	3	16	67	21	76	3	18	
繊維・衣服	16	6	94	0	6	13	8	92	0	8	13	15	85	0	15	
木材・家具	22	9	91	0	9	23	9	91	0	9	23	13	87	0	13	
パルプ・紙	35	11	89	0	11	32	6	94	0	6	32	9	88	3	6	
化学・プラスチック	89	8	90	2	6	90	8	90	2	6	90	12	86	2	10	
窯業・土石	19	11	78	11	0	17	12	82	6	6	17	12	82	6	6	
鉄鋼・非鉄	57	5	91	4	1	57	5	91	4	1	57	4	91	5	△1	
金属製品	29	3	94	3	0	26	4	92	4	0	26	4	92	4	0	
一般機械	58	7	90	3	4	63	5	94	1	4	63	5	94	1	4	
電気機械	70	3	93	4	△1	68	3	97	0	3	68	4	96	0	4	
輸送用機械	59	8	90	2	6	63	5	92	3	2	62	8	87	5	3	
精密機械	13	0	92	8	△8	11	0	82	18	△18	11	0	82	18	△18	
その他	36	8	86	6	2	42	7	91	2	5	42	10	86	4	6	
計	568	8	89	3	5	572	7	91	2	5	571	9	88	3	6	
卸売業	生産財	33	9	88	3	6	27	15	85	0	15	26	23	77	0	23
	消費財	29	7	93	0	7	29	7	93	0	7	29	10	83	7	3
	計	62	8	90	2	6	56	11	89	0	11	55	16	80	4	12
合計	630	8	89	3	5	628	8	90	2	6	626	10	87	3	7	

ー 7. 物流コスト割合の動向ー

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2015年10～12月実績（見込み）の『動向指数』は、輸送用機械が唯一マイナスを示す以外は、残り14業種がプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス14で、前期（2015年7～9月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 2016年1～3月の『動向指数』見通しでは、精密機械がゼロ水準に下降する一方、6業種において上昇する。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス14と横ばいの推移が見込まれ、物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、やや一服感がみられる。



物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2015年7月～9月実績					2015年10月～12月実績					2016年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食料品・飲料	107	36	57	7	29	107	37	58	5	32	107	35	60	5	30
繊維・衣服	41	20	73	7	13	38	21	71	8	13	38	32	61	7	25
木材・家具	38	29	66	5	24	39	31	62	7	24	39	26	67	7	19
パルプ・紙	47	36	53	11	25	43	19	65	16	3	43	23	63	14	9
化学・プラスチック	117	23	67	10	13	117	26	64	10	16	117	24	64	12	12
窯業・土石	38	37	55	8	29	35	23	63	14	9	35	31	60	9	22
鉄鋼・非鉄	99	18	72	10	8	96	21	65	14	7	96	19	69	12	7
金属製品	58	21	69	10	11	57	28	60	12	16	57	23	65	12	11
一般機械	89	27	69	4	23	96	20	69	11	9	96	21	70	9	12
電気機械	117	21	66	13	8	120	23	63	14	9	120	22	67	11	11
輸送用機械	92	13	70	17	△4	97	15	65	20	△5	96	16	64	20	△4
精密機械	26	19	66	15	4	27	19	70	11	8	26	15	70	15	0
その他	52	31	58	11	20	60	32	53	15	17	60	27	58	15	12
計	921	25	65	10	15	932	24	64	12	12	930	24	65	11	13
卸売業															
生産財	49	20	72	8	12	47	40	56	4	36	46	35	59	6	29
消費財	48	29	63	8	21	56	34	54	12	22	56	30	61	9	21
計	97	25	67	8	17	103	37	54	9	28	102	32	60	8	24
合計	1,018	25	65	10	15	1,035	26	62	12	14	1,032	25	64	11	14